



図書室より

平成 29年7月 20日 (木)

広瀬小学校 No.3

図書館教育担当 藤村純子



いよいよ明日から夏休みです。昨年度同様、今回も読書感想文の書き方について紹介します。夏休みの宿題でぜひ取り組んでみてください。



- 1 読む本を決めて、読む・・・一度どんなことが書かれているか読んでみる。
- 2 感想メモを作る・・・・・・・・下記の☆マークを参考に自分の思ったことを書く。
(このメモが感想文の骨組みとなる。)
- 3 構成を考える・・・・・・・・書きたいことの順番を決める。

「はじめ」「なか」「おわり」の三段の構成や
「起」「承」「転」「結」の四段の構成もある。

おわり	なか	はじめ
<ul style="list-style-type: none"> ☆読み終わって分かった本のテーマについて ☆作者や登場人物に言いたいこと ☆読む前と跡で自分の考えや気持ちが変わったこと ☆これから自分がどう行動していきたいか 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分の心に一番強く残ったこと ☆感動したこと ☆登場人物と自分をくらべて思うこと ☆本の内容に関する自分の体験 ☆登場人物や本の内容に共感するところ ☆登場人物に反論したいこと 	<ul style="list-style-type: none"> ☆本についてのしよつかい ☆本の内容にかかわる自分の経験 ☆世の中でおきていること ☆身近な人の言葉 ☆心に残った登場人物の言葉 ☆本の中の言葉の引用(ぬき書き) ☆題名や表紙から感じたこと

- 4 自分の経験や筆者の伝えたいことを考えて一番書きたいことを決める。
- 5 だれかに伝える気持ちで、自分の言葉を使って書く。
 - ・感想メモで骨組みを作ったら、くわしい説明や言葉を付け加えてふくらませながら、原稿用紙に書いてみる。
 - ・読み手を意識し、素直な気持ちを自分の言葉で書くと思いがよく伝わる。

参考文献「読書のとびら 第26集」